

# 保健師としての接し方と地域活動

府在宅保健師の会研修会



府在宅保健師の会研修会が、11月7日（月）、府国保連合会で開催され、23名が参加した。



廣野会長

在宅保健師の会の廣野正子会長から今回の研修会を踏まえて、今後の地域活動に活かしてもらいたいとの挨拶の後、ナースハート主宰の井上氏は、「相手に届く伝え方～自分の気持ちに正直になる～」と題して講演を行った。講演では昨年の講演に引き続き、アサーティブについて主題をおいた。タイプ別分類表で自分のタイプの把握を行った後、自分に合った相手との接し方をグループワークを行うことにより体験的に学習した。



中野次長

午後からは京都府立医科大学医学部看護学科大学院保健看護研究科教授の星野明子氏が「地域のつながりが支える健康なまち～東山区古川町商店街「すこやかサロン」の取り組み～」について、社会福祉法人東山区社会福祉協議会の中野大作次長が「高齢者が安心して暮らせる地域づくり～東山区の取り組み～」と題して東山区のサロンの話を中心に地域活動について講演した。終盤には情報交換会を行い、普段あまり接することのない在宅保健師同士の交流の機会となった。